

重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 定率法 ただし、建物附属設備については定額法採用
 - (2) 無形固定資産 定額法
 - (3) 長期前払費用 均等償却
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金
債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税に定める法定繰入率により計上しております。
 - (2) 賞与引当金
従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。
 - (3) ポイント引当金
将来のポイント使用による費用の発生に備えるため、過去の実績に基づき将来使用されると見込まれるポイントに対し見積額を計上しております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 消費税等の処理方法
消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。
 - (2) 連結納税制度の適用
株TSIホールディングスを連結納税親法人とする連結納税子法人として、連結納税制度を適用しております。

一株当たり情報に関する注記

一株当たり当期純損失金額 294,450 円 63銭

当期純損益金額

第18期(平成30年3月1日から平成31年2月28日まで)の当期純利益は、553百万円であります。